

「市長と一緒にティータイム」対話概要

団 体 名 千葉県立袖ヶ浦高等学校
実施日時 令和8年8月7日（金）午前10時～11時30分
実施場所 市役所政策会議室
出 席 者 袖ヶ浦高等学校 10名（引率教員2名含む）
市 3名
テ ー マ 市政やまちづくりに関して高校生目線で考えたこと

意見交換

市長：袖ヶ浦市の魅力を教えてください。

袖高：内房線やアクアラインがあり、進学や就職するにしてもアクセスが便利です。

- ・道路に自転車のマークがあるのが魅力的です。今住んでいるところにはマークがありません。
- ・学童のボランティアとして、小さい子どもたちと触れ合える機会があります。
- ・大通りなどには街灯が多く、下校が遅くなっても道が明るいです。
- ・東京ドイツ村や袖ヶ浦海浜公園など人気なスポットが多くあります。
- ・臨海スポーツセンターや今井球場などスポーツ環境が整っています。
- ・袖ヶ浦駅前の公園は広く、バスケットボールコートもあり楽しく過ごせます。
- ・交通の利便性がよく、バスターミナルから東京や横浜へ移動がしやすく、通勤などに便利です。
- ・キャンプ場やゴルフ場など自然を楽しむことができます。
- ・学校の5階から夕日と富士山を一緒に見ることができる田園風景が好きです。
- ・暮らしやすく、交通の便が良く、アウトレットにも遊びに行きやすいです。

市長：袖ヶ浦駅北側は、子育て世代が多く移住し、全国的に高齢化が進む中においても若返りが進んでいる非常に珍しい地域です。また、公園の整備にも力を入れており、袖ヶ浦公園や百目木公園では自然を楽しむことができ、多くの皆さんに利用していただいています。

市長：市の魅力を多くの方に伝えていきたいと思いますが、積極的に発信することが望ましいと思う袖ヶ浦市の魅力を聞かせてください。

袖高：子育て環境です。全国的に少子高齢化対策が進む中、若い方が魅力を感じて

移住しているので、全国で見ても大きな強みです。

市長：子育てのどの分野を発信すれば興味をもってもらえると思いますか。

袖高：子どもを取りまく環境です。都市部と自然の多い部分が密接しており、すぐに自然に触れる経験ができます。

袖高：子育て世代に、袖ヶ浦市に住むメリットをアピールすべきだと思います。高校生になって意識する点は交通利便性であり、どこかに行きたいときに行ける環境が整っているのが良いと思います。

市長：チョイソコがうらという乗合送迎サービスがあります。65 歳以上の方に多く利用いただいておりますが、次に多いのが 10 代です。塾や習い事に行くときにご利用いただいております、移動サービスのニーズがあると感じています。

袖高：地域コミュニティが魅力です。下校途中に小学生が地域の方へ挨拶していて、仲の良さが感じられます。

市長：地域コミュニティなど、地域とのつながりはありますか。

袖高：学校のボランティア活動で、地域や高齢者の方との関わりが多くあります。

市長：袖ヶ浦高校は、他の学校と比較すると地域とのつながりが強い学校だと感じています。地域の方との花植えなど、地域との関わりが学校の魅力を作っており、このような魅力を一緒に発信していくことができると良いと思います。

袖高：子育て環境と観光をもっと発信した方がよいと思います。東京ドイツ村や市内の公園、プールなどは、子どもの頃から利用している方も多く、幅広い年代の方々に親しまれている施設だと感じています。こうした魅力を、より多くの皆さんに発信していくことが大切だと思います。

市長：百目木公園のプールは井戸水を使用しているということは知っていますか。他のプールよりも水が冷たいので人気があり、多くの方にご利用いただいております。それを魅力として発信すると、すごく面白い情報になりそうです。

袖高：地域コミュニティと文化、伝統になります。

近年、地域のお祭りなども減少しており、以前は小さい頃に参加していたお祭りがなくなってしまった地域もあります。そのような中で、袖ケ浦市では多くの地域でお祭りが開催されており、神輿が出る場面もよく見かけます。また、夏に開催されるお祭りが多いたと思います、袖ケ浦公園まつりなど、季節に合わせたイベントもあり、今回ボランティアの運営側として参加しました。

市長：運営側として参加した感想を聞かせてください。

袖高：子どもたちの笑顔を見ることができ、とても楽しかったです。大人も、子どもたちが楽しんでいる様子を見ながら、一緒に楽しんでいる姿が印象的でした。

市長：イベントに参加する方が楽しめることはもちろん大切ですが、運営する側の皆さんにも「楽しかった」と思ってもらえることが、地域のイベントを継続して支えていく上で一番大切なことだと思います。大変なことや苦勞することもあるかもしれませんが、最後に「やってよかった、楽しかった」と思ってもらえるような関り方をしていただけたらとても嬉しく思います。

市長：袖ケ浦市の魅力を伝えるためには、どのような方法があると思いますか。

袖高・袖ケ浦市をさらに盛り上げていくためには、若い世代の力が必要だと考えています。

- 若い人たちに情報を届けるためには、Instagram や YouTube などを活用して魅力を発信していくことが重要だと思います。
- 現在、若い世代は SNS を見る機会が多いので、観光地や美味しい飲食店などの情報が SNS で発信されると、「行ってみたい」と感じるきっかけになります。
- 市の公式 Instagram や YouTube などを活用し、おすすめの飲食店や観光スポットなど、袖ケ浦市の魅力をより多く発信することで、市外からも多くの方に訪れていただき、地域経済の活性化につながると思います。
- 先日、坂戸市場でも御輿などがでるお祭りが開催されました。このような地域のお祭りを知らない方もいることから、各地域で行われている活動や地域の魅力について、より多くの方に知ってもらえるよう、発信していくことが

大切だと思います。

市長：地域の皆さんが行っているお祭りなどを知ってもらうことは非常に面白い取組になると思います。また、ホームページ、LINE、Instagram などがありますが、市が情報発信をするのに何を使うと良いと思いますか。また、高校生の皆さんにお伝えするのは何が良いと思いますか。

袖高：Instagram のリールを見て美味しいものを見つけます。

- ・TikTok など今の世代の子たちは見るだけ見て次の動画の時には忘れてしまう。
- ・TikTok は流れてしまうため、情報を得る手段としては、目に留まりやすい X を利用しています。また、SNS ではなく、駅などに掲示されているポスターにも目が向くことがあり、紙媒体が今失われつつあるので紙で情報を発信するのも大事だと思います。
- ・動画が流れてきた際に、最初の画像などで興味を引き、最後まで見てもらえる工夫が大切だと思います。例えば、「この動画を見た方限定で利用できるサービス」などを取り入れることで、もう一度振り返って見たいと思うきっかけになるのではないかと思います。

市長：行政に限らないことですが、正しい情報をどれだけ伝えるかということも非常に重要だと思います。一方で、伝えたい内容が増えるほど情報量も多くなってしまうため、そこが難しい部分だと感じています。

袖高：学童施設などにポスターを掲示してもらうことで、子どもたちや保護者の方の目に留まりやすくなるのではないかと思います。

市長：LINE 配信する際にどのくらいの文字量なら見ますか。

袖高：自分に関係あるものは見るが、関係ないものは後回しにしてしまいます。

- ・ラインが長文になるときは、文章を 2 つにわけようとしています。
- ・顔が見えない方からのメール等を見るかの判断は、最初の一文にかかっていると思います。最初の一文で興味を持ってもらえるかどうか、その続きを読むか否かを決めると思います。
- ・LINE でメッセージを送る際には、伝えたいことが多くなり、どうしても長文になってしまいます。情報発信をする際には、伝えたい内容を簡潔にまとめ、詳細については URL やサイトへ誘導するようにすることで、より多くの方に

見てもらうことができるのではないかと思います。

- ・パン屋さんでLINEを活用しているお店がありますが、「ポイントが何倍になる」といった情報が最初の部分に表示されるため、通知が来ると「行ってみようかな」と思うきっかけになります。通知画面でどれだけ目を引くかが重要だと感じています。また、LINEなどでは長文になると、文字の大きさや表示の仕方によって情報量が多く見えてしまうことがあります。URLの活用についても、内容を箇条書きにまとめ、その下にURLを掲載する方法はとても良い取組だと思います。
- ・URLを押したくなるような問いかけを入れることも効果的だと思います。「なぜ」と疑問に感じることで、詳しく調べてみたいという気持ちにつながりますので、最後にURLを掲載することで、自然と押してもらいやすくなるのではないかと思います。

市長：袖ヶ浦市のキャッチコピーを作るとしたら、どのようなものがありますか。

袖高：子どもと未来を築けるまち袖ヶ浦

- ・人、自然、そして未来をつなぐまち袖ヶ浦
- ・思い出を育むまち袖ヶ浦
- ・青と緑が豊富なまち袖ヶ浦
- ・ないがあるまち袖ヶ浦
- ・ちょうどいいまち袖ヶ浦
- ・未来へ進化するまち袖ヶ浦
- ・ちょうどいいがここにあるまち袖ヶ浦
- ・暮らしやすいまち袖ヶ浦

市長：袖ヶ浦市の特徴を捉えたキャッチコピーを考えていただきありがとうございます。ぜひ、今後の参考とさせていただきます。

市長：住んでいるところにあって袖ヶ浦にないもの、逆に袖ヶ浦にあって、住んでいるところのないものを教えてください。

袖高：袖ヶ浦市は、駅周辺に大きなパチンコや居酒屋がなく、治安が良いと思います。夜遅くなった時でも怖くありません。

- ・小さいお子さんから高齢者や家族で集まれる商業施設が少ないです。
- ・君津市は、病院での医療費が無料です。

市長：18歳まで医療費の助成を拡大したのは、近隣市の中では袖ヶ浦市が初めてです。費用を心配することなく医療を受けられるようにしましたが、少し負担はすべきと考えているため、完全無償化はしていません。

袖高：袖ヶ浦市に商業施設がないことはメリットと感じています。商業施設は、行き続けると飽きてしまうため、仮に袖ヶ浦市にできてもすぐに飽きてしまうと思います。袖ヶ浦市の一番良いところは、自然がたくさんあることなので、その景観を壊さない方が魅力を出せると思います。

市長：各地域の魅力を皆さんに感じていただきながら、まちづくりにつなげていきたいと思っています。

今年の9月から自動運転バスの実証運行を始め、12月から来年2月まで、袖ヶ浦駅から袖ヶ浦バスターミナルまでの間で運行させる予定です。初年度は無料で実施しようと思っていますので、興味があればぜひ乗ってください。自動運転バスは、県南では初めてです。自動運転は、未来の技術ではなく、目の前にある技術です。こうした取組により、「袖ヶ浦市に来てよかった」と思えるまちづくりを進めていきたいと思っています。今後も皆さんのお力をいただければと思います。

市長：本日は、ありがとうございました。

